

9. 三歳児健診で発見され手術を要した中耳疾患

高橋由紀子* 小林 俊光* 朴沢 孝治* 高坂 知節*

1. はじめに

宮城県でアンケートとティンパノメトリーによる三歳児聴覚健診がはじまってから、約3年を経過した。その間当科で中耳手術を施行した症例のうちにも、三歳児健診をきっかけとして発見された症例が散見されるようになった。そこで、今回は三歳児健診開始後に、同年齢で難治のために中耳手術を要した症例について、三歳児健診とのかかわりについて調査し検討を加えた。

2. 対 象

東北大学耳鼻咽喉科にて中耳手術(中耳換気チューブ留置, 鼓室形成術)を施行した症例のうち、平成3年1月から平成6年11月の間に三歳児聴覚健診の受検対象であった25名48耳を対象とした。

3. 結 果

- 1) 48耳の疾患別内訳を表1に示す。
- 2) これらと宮城県三歳児健診とのかかわりあ

表 1

滲出性中耳炎	45	耳
癒着性中耳炎	2	
先天性真珠腫	1	
計	48	耳

いを表2に示す。

3) 三歳児健診で新たに発見された11名について疾患名, 中耳炎既往歴, 治療歴, 合併疾患, 三歳児健診結果, 難聴の程度などにつき表3に示す。これらはほとんどが当科での3~6ヵ月間の保存的治療に抵抗した難治性滲出性中耳炎に対し中耳換気チューブ留置を行った症例である。

11例の三歳児健診結果をみると、全例TG異常を指摘されたが、アンケートでチェックされたものは11例中4例にとどまった。難聴の程度とアンケート異常の有無は必ずしも一致しなかった。症例6はアンケートでチェックされてはいるが、聴こえの項目ではなく、口蓋裂に伴う構音障害があったため、言語の項目でチェックされたものである。

三歳児健診を受診しなかった1例は先天性真珠腫の症例である。症例10及び三歳児健診未受検の先天性真珠腫症例についてその概略を呈示する。

表 2

健診で新たに発見	11名
健診時既に治療中であった	8
健診受検せず	1
県外在住のため宮城県方式の健診施行せず	5
計	25名

*東北大学医学部耳鼻咽喉科

表3 三歳児健診で新たに発見された症例の内訳(11名)

No.	氏名	性別	手術時 年 齢	診 断	急性中耳炎 罹 患 歴	滲出性中耳 炎 治 療 歴	その他の 合 併 症	三 歳 児 健 診		難 聴 の 程 度 (dB) R L
								アンケート	T G	
1	N.N	♂	5	右) 癒着性中耳炎 左) 滲出性中耳炎	左右 一回ずつ	-		○	×	28 18
2	K.I	♂	4	両) 滲出性中耳炎	頻回	+(短期)	扁桃炎	○	×	33 23
3	E.C	♂	4	両) 滲出性中耳炎	両耳併せて 3回	+		○	×	63 60
4	H.S	♂	3	両) 滲出性中耳炎	-	-	口 唇 口 蓋 裂	○	×	(*23) 60
5	S.O	♀	3	両) 滲出性中耳炎	-	-	小人症	○	×	27 42
6	H.N	♀	4	両) 滲出性中耳炎	-	-	口 唇 口 蓋 裂	×	×	17 27 (言語のみ)
7	S.O	♀	3	両) 滲出性中耳炎	-	-	口蓋裂	○	×	37 72
8	Y.S	♂	4	両) 滲出性中耳炎	-	-		×	×	23 23
9	H.S	♀	4	両) 滲出性中耳炎	右1回	-		×	×	57 53
10	Y.N	♀	5	左) 癒着性中耳炎	-	-		○	×	10 42
11	S.K	♀	4	両) 滲出性中耳炎	右1回	-	口 唇 口 蓋 裂	×	×	22 37

*換気チューブ留置後

3. 考 察

宮城県でアンケートにスクリーニングとしてティンパノメトリーを加えた三歳児聴覚健診がはじまり約3年を経過した。その結果、従来のアンケートによる健診では検出することが難しかったこれらの難治の中耳疾患の検出が可能となった。

一般にこの年齢での滲出性中耳炎は無自覚なことが多く、難聴の程度も軽度から中等度のため周囲も気づきにくい。以前私共は、三歳児健診で検出された患児のうち76.2%が無自覚であったことを報告したが、今回のような難治例であってもアンケートのみでの選別は難しい。

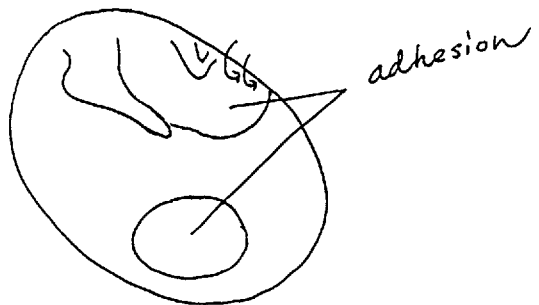
また当科で経験した先天性真珠腫症例(5歳)

は三歳児健診を受検していない。肉芽形成と耳漏を認めて初めて近医受診したもので、手術施行時には真珠腫が大きく清掃が容易でなかった。三歳児健診を受検していれば小さい時期に発見され、手術も容易であったと考えられる。他施設でも三歳児健診のTG異常で先天性真珠腫が発見されており、先天性真珠腫発見にも三歳児健診は意義があろう。

平成4年度に宮城県及び仙台市では三歳児健診で両側高度感音性難聴1名、両側中等度難聴9名(うち感音2)、あわせて10名の両側中等度以上の難聴児が新たに検出された。三歳児健診は難聴児の検出が目標であり、ティンパノメトリーのみによる三歳児健診は妥当ではないという見解が示された。しかし、今回の結果より、

既往歴 : 1歳から3歳半まで月1度の頻度で上気道炎。明らかな急性中耳炎なし。
 難聴を疑わせる症状なし。
 1992年9月 三歳児健診にて左 TG 異常

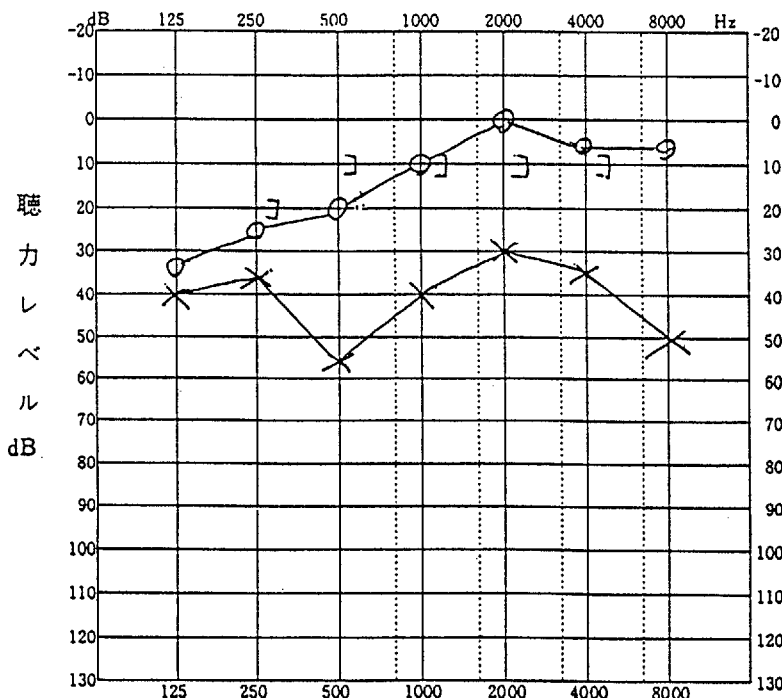
現症 : 鼓膜所見 : 右下図
 Tympanogram : B型



氏名 Y. N.
 聴力検査

	気導	骨導
右耳(閉)	-○-	□
左耳(閉)	-×-	□

H6年1月27日検査
 検査者



検査法

1. 普通検査
2. play(receiver, speaker)
3. C O R
4. B O A
5. 脳波聴力

Audiometer

AA-66BN AA-67N

Masking(Band, white)

Air	R	dB	Bone	R	dB
	L	dB		L	dB

平均聴力 (四分法)

R dB
 L dB

[症例10] 5歳女児 左癒着性中耳炎

既往歴 : 小児喘息
 耳疾患の既往はない
 三歳児健診は受検せず。

現病歴 : 5歳0カ月 左耳痛、発熱あり、近医耳鼻科受診し中耳炎と診断される。保
 存的治療で軽快せず当科紹介となる。

現症 : 左外耳道には肉芽が充満しており、鼓膜は不可視。
 CT : 左外耳道から tympanic cavity 及び antrum を充満する軟部
 組織陰影を認める。

Tympanoplasty O型 (closed) 施行
 Second look operation 予定

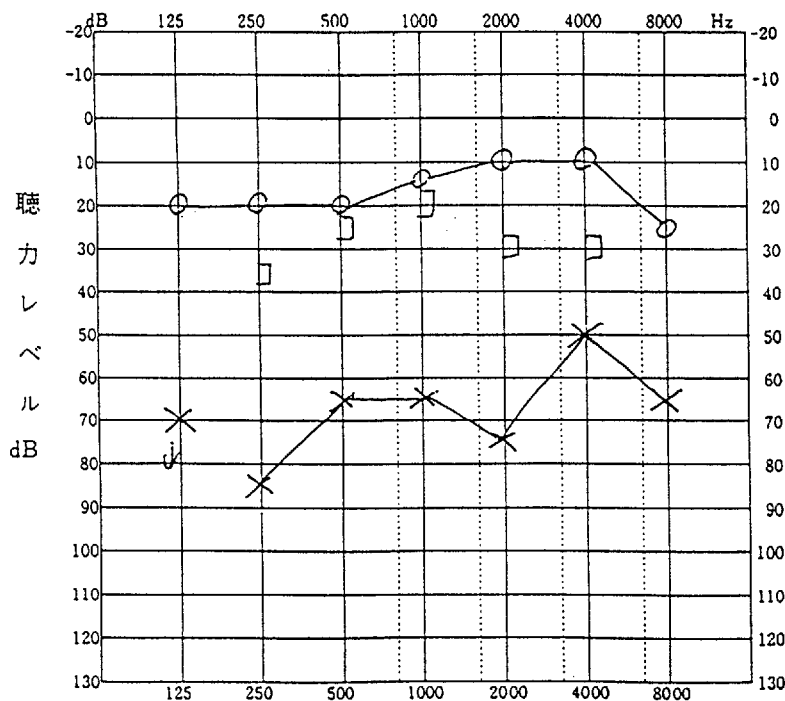
氏名 R.O.

聴力検査

	気導	骨導
右耳(術)	--○--	...□...
左耳(術)	--×--	...□...

93年2月17日検査

検査者



検査法

- ① 普通検査
2. play(receiver, speaker)
3. C O R
4. B O A
5. 脳波聴力

Audiometer

AA-66BN AA-67N

Masking (Band) white)

Air	R 50 dB	Bone	R 60 dB
	L dB		L dB

平均聴力 (四分法)

R dB

L dB

[症例] 5歳男児 左先天性真珠腫

アンケートにティンパノメトリーを併用する宮城県方式だと、アンケートで選別される難聴児の他に、多くの、将来に影響を及ぼす難治性中耳疾患の検出も可能と考えられる。とくに片側性の中耳疾患検出はアンケートでは困難であることから、先天性真珠腫などの検出の意義も大きい。アンケートにティンパノメトリーを併用することは健診の効率の点からも有意義であると思われる。

今後さらに県内他施設の症例も調査し、追って報告したいと考えている。

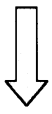
4. ま と め

- 1) 平成3年11月より平成6年1月までの間に、三歳児健診対象年齢で東北大学耳鼻咽喉科にて中耳手術を施行した症例25名48耳について、三歳児健診とのかかわりを調査し、検討を加えた。
- 2) 三歳児健診で新たに発見された11例のうち、7例はアンケートでパスしていた。
- 3) アンケートにティパノメトリーを併用する宮城県方式の三歳児健診は、アンケートのみではとりこぼされてしまう可能性のある、難

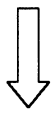
治性中耳疾患の検出に有効であり、健診の効率という面から考えても、本方式の有用性が再確認された。

参 考 文 献

- 1) 小林俊光, 豊嶋 勝, 石戸谷雅子, 高橋由紀子, 高坂知節, 金子 豊, 堀 克孝, 沖津卓二, 荒井英爾, 永渕正昭: 三歳児聴覚健診における異常率と事後措置。平成4年度厚生省心身障害研究「視聴覚障害児の早期発見療育システムに関する研究」研究報告書, 66-72, 1993
- 2) 豊嶋 勝, 大平裕子, 小林俊光, 高坂知節, 未武光子, 佐藤三吉, 沖津卓二, 金子 豊: ティパノメトリーの三歳児健診への導入の試み, 臨床耳科, 17, 57-63, 1990
- 3) 耳鼻咽喉科医のための三歳児健診の手引き 第2版, 日耳鼻福祉医療・乳幼児医療委員会編, 1993
- 4) 未武光子, 小林俊光, 高坂知節, 沖津卓二: 先天性真珠腫5例6耳—耳小骨奇形を伴った両側例を中心に—, 臨床耳科, 15, 47-53, 1988



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1. はじめに

宮城県でアンケートとティンパノメトリーによる三歳児聴覚健診がはじまってから、約 3 年を経過した。その間当科で中耳手術を施行した症例のうちにも、三歳児健診をきっかけとして発見された症例が散見されるようになった。そこで、今回は三歳児健診開始後に、同年齢で難治のために中耳手術を要した症例について、三歳児健診とのかかわりについて調査し検討を加えた。